



令和2年度 杉並区立済美養護学校 学校経営計画（骨子）6月26日改訂版



校長 西田 良児

＜目指す子ども像＝学校教育目標＞

輝く子ども 一社会の中で生きる力と生きる喜びを育む一

＜目指す学校像 4つの柱＞

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| ① 【安全・安心と人権を尊重する教育】 | ・安全な環境で安心して生活できる学校 |
| | ・人権に配慮し、一人一人を大切にする学校 |
| ② 【教育の質】 | ・専門性を發揮し、子どもの可能性を最大限に伸ばす学校 |
| ③ 【コミュニケーション】 | ・保護者や地域や関係機関等と連携し、子どもを支援する学校 |
| ④ 【組織力】 | ・家庭、地域から信頼される学校 |
| | ・チームで課題解決する学校 |
| | ・未来への人材が育つ学校 |

【安全・安心と人権を尊重する教育】

児童・生徒の安全を確保し、安心できる環境での教育活動と子どもたちの人権を守る教育を推進します。

- 感染症予防対策等を徹底し、安全で安心できる教育環境づくりを推進、事故防止に努めます。
- 関係機関等と連携して環境整美に努め、安全に工事を進行させます。
- 年齢に応じた対応など、一人ひとりの人権を尊重した活動を展開します。
- 実践的な避難訓練を実施し、災害時の安全確保や危機管理体制を構築します。
- 健やかな成長を支援する、きめ細やかな健康管理を

【教育の質】

児童・生徒一人一人の特性に応じた授業改善に努め、将来に向け個々の能力を伸ばします。

- 保護者と情報を共有する個別指導計画に基づき、専門家とも連携し指導を行います。
- 学習指導要領の趣旨を踏まえた、より個に応じた目標の設定や授業を展開します。
- 自立に向けた生活指導と体験を広げる進路指導を行うことができる教育活動に努めます
- 障害の特性に応じた学習グループ編成や教材開発などに努めます。
- I C T機器を活用し、児童・生徒を伸ばす効果的な教材・授業展開事例を増やします。

【コミュニケーション】

保護者・地域等と情報共有を進め、連携して児童・生徒の成長を支援します。

- 保護者のニーズを把握し、将来を見通した多様な情報の提供に努めます。
- 学校だより等により、保護者や学校内外との情報の共有を図り、学校の取組みを広く周知します。
- 特別支援教育のセンター校として教育委員会等と連携しながら地域に専門性を発信します。
- 他機関・他校とのつながりを生かし、児童・生徒が地域で生きるための連携をめざします。

【組織力】

特別支援教育の専門性のある人材を育てるとともに、保護者・地域から信頼される学校組織をめざします。

- 若手教員等、組織的な人材育成に努め、学校の専門性を向上させます。
- 個人情報保護等、課題に組織的に対応し、服務事故を発生させません。
- 保護者からの学校評価等を学校経営や業務等の改善により生かしやすくしていきます。
- 事務・給食・主事室がそれぞれの役割を担い、児童・生徒を中心とする機能的組織をめざします。

今年度の
重点

安全の確保

児童生徒の安全を第一にした教育環境を整え、安心した学校生活を確保する。

感染症予防対策、安全な工事進行と事故の未然防止、防災教育推進を着実に取り組みます。

授業の充実

保護者と情報共有する個別指導計画に基づき、児童・生徒の多様なニーズに応える授業を展開する。
個に応じた教材開発、専門家と連携するなど行いながら、授業改善を進めます。

つながりのある教育活動

小学校部・中学校部が連携したつながりのある活動を展開します。

段階的な交通機関の利用など自立に向けた生活指導、体験を広げる進路指導を推進します。